

質疑並びに一般質問

12月定例会では、6日間にわたり25人の議員が市の政策について提言し、課題や市政運営等について、ただしました。ここでは、その一部をお知らせします。
※この記事は各議員が要約して執筆しています。

各議員の氏名の右にあるQRコードを読み取ると、その議員の議会での録画映像を御視聴になれます(公開期間は4年間)。

柏清風

さかまき しげお
坂巻 重男



環境政策について

Q 森林環境譲与税(知+)の新たな用途を増やせないか。

A 来年度も森林整備、人材育成に活用し、ナラ枯れ対策等に活用する。今後は他市の活用事例等の研究や市民アンケートなども参考にし取り組んでいく。

交通政策について

Q 都市軸道路(知+)開通のメリットを問う。

A 地域経済の発展、災害時の緊急輸送路の役割の期待、新大利根橋の先の布施交差点の慢性的渋滞解消が図れる。

Q 県道7号線(我孫子-関宿)の混雑予測への対応策は。

A 野田市への確認では、既存の交通量に3地区全ての想定交通量を加えても大きな渋滞は発生しないと報告を受けている。一方で、今後右折レーンのない交差点で滞留が増加することも予想されるので、千葉県土木事務所へ今後交通量増加に応じた右折レーンの整備など必要な対策を要請した。

Q TX(つくばエクスプレス)の利用者へ純利益を還元できないか。

A 沿線自治体と連携して通学定期運賃

の引下げの要望書を鉄道会社へ提出している。5年度は60億6,900万円の利益計上の報告があった。

農業政策

Q 生産緑地の管理監督は。

A 管理が行き届かない農地が一部発生していることは認識している。作付計画書の提出、営農を指導していくことは考えていない。都市における緑地空間や環境保全、災害時の防災空間機能等の役割を担っているため今後も適切な管理・保全を図る。

教育政策

Q 通学時のヘルメット着用推進状況は。

A 柏警察による自転車交通安全・乗車マナーとヘルメットの着用の重要性について講習してもらう。講習会でも補助金のチラシを配布し、今後もヘルメット着用の重要性は強く協調する。



(写真はイメージ)

て市内スポーツ施設の早朝、夜間の使用ができるようにしてほしい。

A 早朝や夜間開放施設の拡充に当たっては運動場の近隣住民の理解や利用者のニーズ、費用対効果も踏まえながら対象施設や時間設定を検討していく。

田中北小学校正門前交差点の安全対策

Q 地域の方から横断歩道の渡り時間が短い等の意見があった。学校、保護者、地域の方から意見を広く集め、安全対策を取ってもらえないか。

A 低学年の児童も安心して渡れるように、登下校の時間帯だけでも青信号の時間を延長してもらえるよう千葉県公安委員会に要望していく。

正連寺交差点について

Q 令和6年6月に正連寺地区の交差点にて死亡事故が起きてしまった。地元の町会からは事故の再発への不安の声が上がったことから、町会長と私の連名で各

関係機関に一時停止の要望書を提出した。その後の交差点の安全対策の進捗状況は。

A この要望書に対し、10月に柏警察署から柏区画整理事務所を通じて一時停止標識を設置するとの回答があった。

利根川渡河橋について

Q 千葉・茨城都市軸道路整備促進期成同盟会は本市、茨城県守谷市間の利根川渡河橋の早期事業化を求める要望書を今回は熊谷知事に提出した。知事からはどのような回答があったのか。

A 千葉県、茨城県に対して利根川渡河部新橋建設を推進し、都市軸道路の全線開通に向け早期事業化することや整備を計画的かつ着実に進めるための十分な予算を確保することを要望しており、11月に茨城県知事、千葉県知事に対して本市の市長が直接要望した。この結果、両知事からは早期事業化に向けて積極的に取り組んでいくという前向きな回答を得た。

柏清風

ふくもと あい
福元 愛



『こどもにやさしいまち柏』を目指して

Q こどもの居場所事業は、これに特化した執行体制を構築すべきと考えるが。

A TeToTe(8面参照)では部局横断的な事業推進を図り、体制にとらわれず進める。

Q なぜ、こども計画(知+)を策定しないのか。

A 7年度策定の千葉県のこども計画を勘案した上で実効的な計画を策定したい。

35人学級への移行と学級編製の弾力化

Q 学級編制弾力化は加配定数の活用等、有効策である。現場負担軽減のため、特別支援学級を含め、県に要請すべきでは。

A 県に弾力化や教員加配を要望しつつ、市独自に教育支援員を任用し配置する。

学校施設の共用化・複合化と地域連携

Q 共用化・複合化の検討の進捗は。

A 学校教育と社会教育の連携、地域交流の場等さらに施設の有効活用を考える。

近隣センターの再整備

Q 西原近隣センター等は、1階フロアの使いづらさも稼働率低下要因と考える。需要の高い貸室への転用を図るべきでは。

A 1階を需要の高い貸室への変更は利用率向上とバリアフリー化に有効である。

Q 会議室等が1階にないセンターは優先度を上げエレベーター設置すべきでは。

A 設置可能性を調査の上、早期に進める。



西原近隣センター

地域の防災力向上のために

Q 住民、特に若い世代のリーダー育成、防災士資格取得支援が実効的ではないか。

A 幅広い世代に向けた防災知識の普及啓発のため、防災講習会を実施している。

闇バイト〜犯罪に加入させないために〜

Q 若者や少年に対する市の取組は。

A 少年補導センターによる啓発、学校警察連絡協議会での情報交換等がある。

図書館サービスポイント柏の葉

Q 児童書を選ぶ親子は、本来、リアルで本を選ぶ場を求めているのではないか。

A 周辺分館の利用をお願いしたい。

Q 既存書店との共存と連携への考えは。

A 先進事例を研究し、ららぽーと柏の葉や1階書店とコミュニケーションを取りつつ、連携可能なことを検討したい。

柏清風

わたなべ くにひろ
渡邊 晋宏



経済産業行政について

Q 道の駅しようなんにて、大収穫祭の来場者数は昨年度と比較してどうか。

A 大収穫祭イベント全体の期間は10月12日から11月10日までとなっている。昨年度は約10万5,000人で、今年度は約12万人であり、令和5年の同時期と比較して約1万5,000人の増となった。

Q 令和6年6月の食品衛生法の改正により、加工品(梅干しや漬物)が作りづらくなった状況を踏まえて、今後道の駅しようなんでの方向性は。

A 法の改正により残ったものを加工することがなかなか御自宅できなくなるという中では、さらなる出荷者の負担軽減について検討を進めていく中で、出荷者

の御意見等を聞きながら進めていくことになると思う。費用対効果や他の直売所の例など参考にしながら、道の駅にそういった加工ができるような施設を造るなど具体的な検討、研究を進めていければと思う。

若者政策について

Q 中高生の広場(知+)の目指す方向は。

A 中高生の広場は、放課後や休日に自分らしく自由に過ごすことができる安全、安心な居場所を目指して、利用者となる中高生世代の方々の意見を聞きながら整備を進めてきたところである。また、大学生による有償ボランティアも配置し、緩やかな見守りの下で中高生世代の方々が主体となる活動を支援していく。設備としては、広場内に5つのエリアを設け、様々なニーズに合った過ごし方ができるように家具や備品を配置している。入り口付近の受付には、カフェカウンターを併設し、スティック飲料とウォーターサーバーを用意して、友達や大学生のボランティアなどお茶やコーヒーを飲みながら気軽におしゃべりできる場所となっている。



道の駅しようなん大収穫祭の様子

柏清風

さくらだ しんたろう
桜田 慎太郎



夏季のスポーツ環境の整備について

Q 猛暑の中での運動は、屋外でも屋内で

も大変危険である。夏場でも楽しくスポーツができるように、熱中症対策とし

森林環境譲与税

森林整備やそれに関わる人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等に関する費用に充てるため、国から自治体に対し譲与されるもの



都市軸道路

つくばエクスプレス沿線地域(つくば〜三郷)を結ぶ広域幹線道路として整備している道路

中高生の広場

中高生世代の子供たちが放課後や休日に自分らしく自由に過ごすことができる安全・安心なサードプレイス(第3の居場所)として令和6年12月に柏市子ども・子育て支援複合施設「TeToTe」(8面参照)内5階にオープンした

こども計画

全ての子供が幸せな生活を送ることができる社会を目指し、社会全体で子供に関する取組「こども施策」を進めるための計画のこと。都道府県と市町村に作成の努力義務が課せられている



合計画の前期基本計画では、行政の基礎的なサービスに係る施策については施策体系として網羅的に方向性を示す一方、特に重点的に取り組むテーマについては重点テーマとして位置づけ、目指すべき方向性を明示していく。

Q 今回の策定の背景に従来型ベッドタウンとしての成長サイクルは限界を迎えようとしていると書かれており、これには大変共感する。ただ、それをどのような形で乗り越えていこうということが基本構想の中に反映されていないと感じている。従来型のベッドタウンとしての成長サイクルとは具体的にどのようなことを

を言っているのか。

A 都心からの交通の利便性などを背景にして、住宅が供給され、そこに人が集まり、産業が集まってくることでより税収が上がるというサイクルである。

Q 440億円程ある基金がこのままでいくと10年間でゼロになるというシミュレーションがされているが、基本構想の中に財源に関する記述があまりされていない。近隣自治体のこの点に対する書きぶりは調べているか。

A 自治体によって特色があり、今回の本市の場合は将来の姿も含めて理念的なものを記述した。

柏清風

やまだ かずひと
山田 一



市政について

Q 介護労働実態調査の状況を問う。

A 国の推計では2040年度に約272万人の介護職員が必要となり、約57万人が不足するとされている。千葉県においては2040年度には13万人の介護職員が必要となり、約3万人が不足すると推計されている。本市の介護職員の不足の状況については、令和3年に実施した第9期柏市高齢者いきいきプラン21 **知+** 策定のための基礎調査において、市内介護サービス事業者の78.3%が人材不足を感じていると回答している。本市の介護人材の確保の取組については、国が実施してきた処遇改善の対象から外れている介護支援専門員について、5年度より最大で月額9,000円、年額で10万8,000円の処遇改善を独自に実施している。また介護従事者に対してのキャリアアップの介護に関する資格取得費用の全額助成や様々な取組を実施している。今後も介護現場の実態や国や他の自治体の動向、社会情勢を考慮した取組を検討し進める。

教育行政、部活の地域移行と記念歌「かしわハッピー」について

Q 令和6年は市制70周年となる。20

年前の市制施行50周年の際、記念歌として「かしわハッピー」が作られた。今、感じているのは、本市はリズム、それからメロディー、ここまでは一生懸命やってきたが、あとはハーモニーがもう少し欲しいと思う。現在移行過渡期であり、音楽は感受性の問題があるが、音楽合唱で、子供が主体となって声を出す、協調にいろいろハーモニーをつくることも大切と思う。音楽の街の標榜に、音楽をなくさないような情勢づくりの工夫を問う。

A 歌が作られてから20年がたった。もう知らない教員、知らない子供たちもいっぱいいる。まずは提案のあった学校現場で知らしめること、歌詞を配ったり、CDを配ったり、もしくは全校集会で歌うような習慣を広めていけるようにしたい。



公明党

こまつ さちこ
小松 幸子



不登校児童生徒へのスポーツ支援について

Q 令和6年6月定例会で質問をした、柏市スポーツ協会と協力をいただき、不登校児童生徒へスポーツに触れる機会を提供することへの進捗は。

A 柏市スポーツ協会の方と話し合いを行い、協力いただけるスポーツ団体を募った。現段階では、剣道、相撲、スキー、ペタンク、ゲートボール、柔道、合気道、レスリング、ラグビー、ミニバスケットボールの10団体である。今後も不登校児童生徒がスポーツに親しむきっかけとなるよう周知に努めていく。



にんしんSOSかしわ **知+** について

Q 思いがけない妊娠をした女性とその関係者を対象とした継続的相談ができる体制と支援活動の実施については。

A 電話のほかメールやLINEでの相談にも対応する。孤立することのないよう事業者から積極的に連絡を入れるなど、継続的支援や見守りを行う。出産に至った際には必要に応じて入所いただき、医療機関の同行受診や食事等による体調管理、出産後には、授乳や沐浴、夜泣きなどの育児支援を専門職が寄り添い、親子の愛着形成を育めるよう24時間体制で支援する。

自転車の通行環境整備について

Q 本市は自転車の通行環境整備が遅れているのではとの指摘を市民からいただいた。自転車の通行環境整備の進捗状況と今後の計画は。

A 自転車に関わる交通事故の発生状況や市民アンケート、自転車量が多い路線などのデータを基に、令和16年までの10年間の計画期間中で優先的に整備すべき路線を約15km程度抽出し、着実に整備を進めていこうと考えている。

公明党

なかじま
中島

たかし
俊



子育てしやすいまち

Q 令和6年の4月から12月までの保育園の定員空き状況から、全55私立保育園のうちゼロ歳児の4月の利用率21%、5月の利用率36%、6月は47%である。そして今月まで12月の今、現在でも1園、ゼロ歳が空き続けている。これまで特にゼロ歳児対策に注力してきたが、この現状をどう考えるか。

A 柏市保育のあり方に関する基本方針 **知+** に基づき今後、見ていきたい。

Q 柏市子ども・子育て支援複合施設 Te To Te (8面参照) については、イニシャルコストで今までかかった額は約2億8,300万、ランニングコストについては2億8,700万円である。合計5億7,000万を超える額をかけてこの施設を改築し、6年度の予算でも1億9,000万を計上している。中でも送迎保育ステーションだけを見ると、委託費5,451万円をかけて今年度から運営を始めた。現在の送迎保育ステーション利用園児数は何名か。

A 3園合計して7名である。

Q 送迎保育ステーションの定員は72名、3園のうち1園は1名の園児しかいない。その1名の園児に対して1,817万円かけて送り迎えしている。市長は、この利用は適正と考えるか。

A 今後、3歳児、4歳児、5歳児と徐々に増えていく。来年度からの応募は予定どおりの人数が埋まると考える。

Q 令和5年の3月から始まり、1年間1,800万円の委託費をかけて1園1名の園児数という現状をどう思うか。

A 令和7年4月の募集について、間もなく締切りになり、どれくらい入るかというのが分かってくるため、分かり次第報告したい。



送迎保育ステーション等の機能を持つTeToTe

日本共産党

やざわ ひでお
矢澤 英雄



地球温暖化対策

Q 日本政府の温室効果ガス削減目標は低い。それに横並びするのではなく、積極的に高い目標を設定し、取組もさらに充実させるべきではないか。

A 本市の目標を早く実現できるように温暖化対策を進めていく。

有機農業の推進

Q 生産者に具体的な支援内容を示して、取組を呼びかけたらどうか。

A 農家の声を聞きながら、本市でできることを検討していく。

小中一貫義務教育学校 **知+** の問題点

Q 大規模校に勤務した教員からは、教員が多くて交流がない、1週間話さない教員もいる、職員会議で声が聞こえない、学年全員で集まりにくい、共通理解がなかなかできない、本当に困った、との声が届いている。どう考えるか。

A 柏中学校区の小中一貫校では、そのよ

うなことは起こらないと考えている。

根戸新田跨線橋の改修

Q 北柏駅北口区画整理事業の進行により、2026年に複合商業施設が開業する。利用者が増えると予想される根戸新田跨線橋の安全のための改善を求めます。

A 商業施設オープンまで対策を講じる。長期的な跨線橋の在り方については、関係機関や地域住民の意見を聞いて、慎重に判断する。



根戸新田跨線橋

日本共産党

むとう みつえ
武藤 美津江



マイナ保険証

Q 資格確認書 **知+** とこれまでの健康保険証の違いは何か。

A 名前が違うという以外は、ほとんど同じになっている。

Q 名称が違うだけで、今の健康保険証と同じであれば、今の保険証でいいのに、何で廃止する必要があるのか。税金の無駄遣いではないか。

A 必要な行政サービスを受けるための煩雑さが解消される制度だと理解をしている。その初期段階で一定の経費を要するのはやむを得ない。

Q マイナ保険証には5年間の期限がある。更新しなければ、無保険状態になるので

はないか。

A 有効期限が経過した後も3か月間はマイナ保険証として利用できる。更新を忘れてしまった場合は、本市の職権で資格確認書を発行する。

補聴器購入費助成

Q 認知症予防に耳の聞こえ方が関わるとい認識があるなら、高齢化が進み、認知症の方が増えても、医療費や福祉サービス費も抑えることができるのでは。

A 聞こえの問題もさることながら、聞こえ以外で、口腔の問題であるとか、ほかの健康状態の問題も含めて様々なリスクが複合的にある。1つの取組だけを特化しては難しい。

知+ 第9期柏市高齢者いきいきプラン21
6年度から8年度までの3年間を計画期間として、高齢者福祉や介護保険サービスに関する事業量やその確保策、制度の円滑な実施に向けた取組の内容等を定める計画

知+ にんしんSOSかしわ
身近に頼れる親族等が不在である等、家庭生活に支障が生じている妊産婦に対し、安心して出産やその後の生活について考えることのできる支援を行う事業のこと

知+ 柏市保育のあり方に関する基本方針
本市が抱える保育に関する課題を整理し、乳幼児期の教育・保育の質の向上と量の確保の両面を実現するため、本市の保育の在り方を中長期的な視点から検討したもの

知+ 義務教育学校
小学校と中学校が、目指す児童生徒像を共有し9年間を通じた教育課程を編成して系統的な教育を目指す学校のこと。現在本市では、柏中学校・柏第一小学校・旭東小学校を統合した義務教育学校の設置について検討している

知+ 資格確認書
マイナンバーカードを取得していない方が、マイナンバーカードによらず保険資格が確認できるよう交付されるもの。資格確認書を医療機関等に提示することで、これまでどおり自己負担割合(3割負担等)で保険診療を受けることができる

日本共産党

たくち やすひろ
田口 康博



本市千代田の葬儀場建設問題

Q本市千代田に10月15日に突然、開発事業等計画公開板が建てられ、葬儀場の建設計画を周辺住民が知ることになった。住民の要請で11月17日、事業者からの説明会がなされた。当初の予想を大幅に超え、100人近い住民が集まった。住民の建設反対の意思が大変よく伝わった。現在までに1,263名の反対署名が集まっている。本市の要綱では、この規模の葬儀場には、駐車場が5台なければならないところ3台分しか設置しない計画だ。
また、隣の家との距離も非常に近く、僅かな距離のところにお墓が安置さ

れる予定だ。しかも、火葬待ちなどのため、家族も、そして葬儀場の社員も帰宅してしまい、御遺体だけが葬儀場に安置されることがあるとのことである。千代田町住民が反対している、葬儀場建設問題についてどう考えるか。
A事業者には近隣の方々の意見に十分耳を傾け、丁寧に話し合いに応じるよう指導をし、可能な限り住民の意見を反映した計画とするよう要請している。市としては、今後も近隣の方々と事業者が双方の立場を理解し、互いの話し合いが円滑に進むよう事業者に対して丁寧な説明を促していく。

日本共産党

ひらの こういち
平野 光一



障害のある子の学区外就学

Q本市教育委員会は、いじめ、不登校、疾病は学区外就学を認める要件にしているが、障害を要件にしていない。「指定学校に特別支援学級(知+)がない場合」にのみ認められ、たとえ児童が指定校に拒絶反応を示しても、市教育委員会は「要件に該当しない」として拒否している。明らかな障害者差別であり、直ちに改めるべきでは。
A本市では指定学区制を採用しており、情緒・知的・難聴学級の該当する学級が指定校にない場合など特別な事由がある場合には、申請に基づく審査の上、学区外就学を認めている。

Q特別支援学級のない小学校が市内に何校あるのか。
A求められている学校には全て設置している。
Q現在保育園に通っている障害のある子は、母親と一緒に通学区の小学校の見学に行ったが、パニックを起こして校舎にさ入れなかった。通園している保育園のようにこの子が安心して通える小学校がどこかあるはずだと考え、市教育委員会に他の小学校の見学の許可を求めたが市教育委員会は拒絶している。それさえ認めないのは差別ではないか。
Aまだ学校に通っていない段階で、その学校だけが合わないとは判断するのは難しい。

日本共産党

わたべ かずこ
渡部 和子



柏駅周辺のまちづくり

Q柏駅東口駅前再整備の検討はどこに委託したのか。
A株式会社日建設計に委託した。
Q選定委員に地権者が入っているが、利害関係者を選ぶことは問題ではないか。
A委託の中身が駅前広場やJR北口改札設置検討なので、利害関係者ではない。

A防犯対策の一助にはなるが、特殊詐欺対策を確実に実施したい。
保育行政
Q保育園入園保留者は4月時点で246人だったが現在は何人か。
A実際の保留者は約1,000人程度である。
Q株式会社の保育園がスキマバイトアプリを使って保育士を募集しているが、実態はつかんでいるか。
A2つの法人で6園と把握している。



柏駅東口周辺

防犯対策

Q凶悪犯罪が増えている。カメラ付インターホン設置に補助を求めるが。

Q直接子どもに関わる保育士を、履歴書も対面での面接もなく、資質や知識を確認せず雇用するのは問題ではないか。
A電話での面接実施、初出勤の時に履歴書を提出させている。
都市計画道路整備
Q豊四季宿連寺線の進捗状況は。
A進捗率は約93%。用地取得に向け関係地権者との交渉を継続している。

みらい民主かしわ

いとう まこと
伊藤 誠



令和6年第4回定例会質問事項

Q第六次総合計画の基本構想についての市長の思い、見直しはどうか。
Aまだ人口増を見込める今だからこそ

将来のために様々な挑戦を試みたい。創造的で居心地のよい地域の個性が輝くまちの実現を目指して、必要な政策に全力で取り組んでいきたい。

Q柏市職員定数条例の一部を改正する条例の制定により、学童保育と放課後子ども教室に及ぶ効果を問う。
A事業を一体的に運営することで、場所や人材を効果的に活用でき、放課後子ども教室の全校展開の加速化やこどもルームの待機児童問題解消につながるのではないかという結論に至った。
Q小学校における特設クラブについて問う。

A今年度、次年度を部活動改革推進期間と位置づけ、8年度の特設クラブ活動の廃止へ向けた準備期間としている。
Q本市における災害時備蓄は。
A水や加熱を必要としないおかゆやパン、ビスケットを市内の全避難所と備蓄倉庫の合計35万食を備蓄している。
Qトイレカーの平時の取扱いは。
A中型車両1台と小型車両1台の導入を予定している。平時は、市主催の大型イベントに出展し、利用してもらう。

みらい民主かしわ

ながやま ともひと
永山 智仁



高齢者福祉

Q高齢者等終身サポート事業(身元保証等高齢者サポート事業)への考えは。
A事業を行う事業者の適正な事業運営を確保する認証制度を先駆的に行っている自治体もあり、現在調査研究している。

第50回衆院選の選挙事務

Q投票整理券(知+)の発送が遅れた理由は。
A郵便局との事前打合せで予定していた配付期間を超えてしまったため。
Q予定していた期間内に配付を間に合わせるよう、郵便局と交渉したのか。
Aできる範囲でのお願いはしていた。

小中学校の校務支援システム(知+)

Q教職員が使いやすいシステムであることが必須だが、どのような運用方針か。
A複数のシステムとの比較や現場の教職員の意見等も勘案して選定している。

水道事業の今後の見通し

Q千葉県営水道は値上げの方針が示されたが、本市水道事業の見通しは。
A8年度から17年度まで10年間の経営方針策定の準備を進めており、今後経営シミュレーションを行っていく。
7年度春開始の常磐緩行線ワンマン化(知+)
Q安全性等への影響をどう考えるか。
Aこれまでの実績を踏まえると、安全性や利便性は確保されていると考える。

みらい民主かしわ

すずき せいじょう
鈴木 清丞



施設一体型小中一貫義務教育学校(知+)

Q福山市教育委員会は、義務教育学校は児童生徒数1,000名を越えないようにしている。つくば市は4校の義務教育学校があり、今後を検討した結果、施設一体型の義務教育学校をあえてつくり、同一敷地内に小学校、中学校をつくり連携一貫教育としている。春日部市の義務教育学校の校長先生は、義務教育学校の適正な規模は18から27学級であると言っている。本市では、10年度に40学級以上、児童生徒数1,330人以上の大規模義務教育学校をつくらうとしているが、市長はどのように考えているか。

A児童生徒数に見合う校地面積、施設面積、教員数が必要十分に確保されると認識しており、必要十分な教育環境を整えることができると考えている。
Q市長は、いつ義務教育学校の設置を考えたのか。
A正確な日時が申し上げられない。5年度ぐらいであったと記憶している。
Q柏中学校区の義務教育学校の児童生徒数の最大人数は何人か。
A推計では、最高1,452人である。
Q柏駅西口タワーマンションの建設による人数増を考慮しているか。
A推計値には反映していない。

みらい民主かしわ

おかだ ちか
岡田 智佳



柏寿荘(知+)の改修工事と利用者への影響

Q改修の予定がない設備を利用しているサークル活動については、活動を継続できるようにすべきではないか。
Aほかの施設の利用を検討していただきたい。

路上喫煙対策

Q現在、柏駅周辺となっている禁煙等強化区域を、拡大してはどうか。
Aパトロール強化、マナー向上のための啓発など効果的な取組を検討していく。
Qポイ捨て防止、路上喫煙防止のために、都内に設置しているコンテナ式指定喫煙所(知+)を、柏駅に検討してはどうか。

A課題が多いものと認識している。
宿泊税の導入による影響
Q免税点を設けないという県の案は、市内の小規模事業者に影響を及ぼす可能性が大きい。県に意見してほしいが。
A小規模事業者へ配慮など、県に意見を伝えていく。
Qインバウンドを意識した事業者による様々なアイデアを検討してほしいが。
A柏市観光協会と協議検討していく。
職員の労働環境と公益通報(知+)窓口
Q弁護士などの専門家による外部の公益通報窓口を、設置すべきではないか。
A人事課が直接把握しづらく、早期解決が難しくなるため、設置の考えはない。



特別支援学級

障害のある子供のために小・中学校に障害の種別ごとに置かれる少人数の学級。知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害の学級がある

投票整理券

選挙が行われることのお知らせや、投票所の案内・受付の効率を図ることを目的に各世帯に送付されるもの

校務支援システム

教育機関で扱うデータを電子化して集約するツールのこと。教員が担う業務を効率化し、負担の軽減を目指す

常磐緩行線ワンマン化

車掌が乗務せず運転士だけで運行する「ワンマン運転」が、2025年春から常磐線(各駅停車)において実施される

柏寿荘

柏市北部の老人福祉センター。大浴場、大広間、庭園、講座室、陶芸室が併設されている

コンテナ式指定喫煙所

閉鎖型の喫煙所(コンテナ型喫煙所)。高性能の集じん脱臭装置があるため、タバコの煙を強力に浄化するとともに、汚れた空気を外に出さないよう設計されている

市民サイド

まつもと ひろみち
松本 寛道



海上自衛隊下総航空基地内の調査

Q過去にPFASを使用していたが、どのように原因者を特定するのか。

A水路下流の下総基地の影響の可能性もあり調査への協力を依頼している。

Q下総基地内のボーリング調査(知+)が必要ではないか。

A下総基地側で水路の調査後に実施されると考える。ボーリング調査は数本実施した後に総合的に評価が必要となる。

Q原発の議論の中ではT第二原発は固有名詞を出して指摘されてないが、下総基地は固有名詞を出して調査を求められているのではないか。

A汚染水を出していると思われる事業所として下総基地を公表している。

北千葉浄水場の安全性

Q本市の水源地の地下水では検出されていないPFOAが、北千葉広域水道企業団の水を加えると10ナノグラムほどに増加しているのはなぜか。

A北千葉広域水道企業団のデータについては北千葉から結果報告を受けており、それ以上の値かどうかは分からない。

Qおかしいとは思わなかったのか。

A確かに高い値になっているが、当時のことは把握していなかった。

市民サイド

わかさ ともひろ
若狭 朋広



学童保育について

Q5年度のこどもルーム支援員の新規採用数は46名。一方、それに対し退職者数は58名と辞めていく人数が上回っている。支援員の仕事の専門性を学び、やりがい、モチベーションアップ、全国の支援員同士の意見交換ができる全国学童保育研究集会を研修として取り入れてはどうか。

A支援員のモチベーション向上、やりがい、魅力を感じられる研修が必要と考える。研修参加の機会を増やしていく。

Q支援員同士が児童一人一人の支援につ

いて考え、共有する時間が足りない。児童入室前の会議時間確保のため、勤務時間を見直すことが必要ではないか。

A実態把握し、情報共有が不足することのないよう努める。

市営住宅について

Q新しく入居する方は入居して初めて部屋の状況を知る。民間の賃貸住宅では当たり前に行われている部屋の内見を募集と同時に実施すべきではないか。

Aリフォーム前の状態は内見に適さないため考えていない。分かりやすい情報提供を心がけ、丁寧な対応に努めていく。

市民サイド

はやし さえこ
林 紗絵子



こどもの声を無視していないか

Q令和5年にこども基本法が施行され、こどもの意見反映に係る措置を講ずることが国や地方公共団体に義務付けられたが、柏中学校区の義務教育学校(知+)計画の公表から1年を過ぎても、3校のこどもたちは統廃合に関して一度も意見を聞いてもらえていない。こどもたちにアンケート調査をすべきではないか。

A適時適切なタイミングで関係する児童生徒に意見表明の機会を確保していくことが必要と認識している。

Q2013年に大阪府で5年生児童が身を

投げた。在籍校の統廃合が迫る中、遺書には「とうはいごうを中止してください」と記されていた。学校がなくなることはこどもの心に大きな影響を与える。統廃合は義務教育学校設立のついでのように考えてはいけないのではないか。

A決してそのような考えではない。

Q教育委員会は統廃合という言葉は避けその重大性から目を背けている。「義務教育学校設立のため」ではない、統廃合の必要性が説明できなければ当事者は納得できないのではないか。

A丁寧に議論して進めていきたい。

柏エナジー

かみはし
上橋 しほと



根戸新田跨線橋

Q本市が考える今後の跨線橋の在り方はどうなのか。

A周辺地区の利便性等を考慮しながら、関係機関や地元住民の意見を伺い、慎重に判断する必要がある。

ペット避難

Qペットと同室避難できる体制づくりを進めていかないか。

A本市としても課題として認識している。飼い主がペットと安心して同室避難できる施設が求められるため、先進市の事例を参考に調査研究していく。



ペット屋内避難室の再現展示

柏市ばい捨て等防止条例(知+)

Q加熱式たばこを過料徴収の対象にするなど、規制の対象に加えていかないか。

A条例ではたばこについて明確な定義がないため加熱式たばこを対象にすることが可能であると解釈できるが、対

象の拡大には加熱式たばこの吸い殻のばい捨て調査や、指導員の過料処分業務に混乱を生じさせるおそれなどが課

題となる。実施する場合の事前周知の方法や期間を含めて慎重に検討するべき事項である。

柏エナジー

きたむら かずゆき
北村 和之



3歳児健康診査における吃音について

Q吃音とは滑らかに言葉が出ない、同じ言葉を繰り返すなどの発話障害、遺伝、心理面など様々な要因があり、幼児期の吃音の95%は2歳から4歳に始まるとされている。3歳児健康診査票や問診票に吃音の発見や理解を目的として、「吃音」と明確な記載を求め、また、吃音が十分に発見され対応されるような環境づくりや、保護者や学校の先生、保育士など関係者へ吃音の理解を促進してほしいがどうか。

A3歳児健康診査において吃音を含めた発達の気になるお子様の適切な把握、対応ができるよう研修会の開催や職員の人材育成を図っていく。また、次年度より、どもりではなく吃音という記載をするように調整している。

市としては、お子さんの障害、育ちに不安や心配な保護者への情報提供は大変重要と考えており、今後ホームページの見直しやSNS等を活用し、情報発信に努め、吃音を含めたお子さんの発達や障害等への支援及び理解の促進に努める。

無所属

すえなが やすぶみ
末永 康文



職員研修

Q役所からの通知や書類に誤りがあったはならない。最近多いのは緊張感が欠けているのでは。研修はどのようにしているか。

A職員の不適切な事務処理を原因とする危機事象は近年発生しており、柏市政に対する信頼を損ねる重大な問題であり、原因分析やその防止、対処法、事務改善など職員の意識改革を促している。

補正予算(トイレカー問題)

Qトイレトレーラーを導入しないで、なぜトイレカーになったのか。

A災害時にトイレの重要性を鑑みトイレカーにした。トイレトレーラーは牽引免許を取得している者が少ないため。

入札制度(指名停止)問題

Q低入札調査会が行われその後、契約、事業者の代理人から契約解除があり指名停止にした理由は何か。

A契約解除に伴い指名停止要領に基づき3か月の指名停止、規定の10分の2相当額5,934万9,400円をいただいている。これは低入札保証金を違約金とした。

無所属

わたなべ ゆうじ
渡辺 裕二



柏駅前空間に関するアンケート

Q本市では8月に「広報かしわ」などを通じて柏駅前空間に関するアンケート(知+)を実施したが、どのような回答が得られたのか。また市長の考えを問う。

A市には1万件以上の声が届けられている。内容は年度内をめどに公表できるよう分析作業を進めるが、柏駅前の未来への期待に応えられるように魅力ある都市空間の構築に向けて取り組む。

ベビーカーでも移動しやすい駅前の実現

Q昨年度に引き続きベビーカーを押して各駅の移動しやすさを全駅で調査した。

各駅の課題に対する改善の進捗を問う。

Aエレベーターの場所が分かりにくいという指摘を受けた柏駅東口に関しては新たに3か所、案内サインを設置した。拡幅改札口が入場専用となっていた豊四季駅に関しては東武鉄道へ要望を出して相互通行可能な運用へと変更いただいた。豊四季駅に関しては南口に行く場合に4回エレベーターを乗り継ぐ必要があるが、無人の改札口などを含めた解決策の協議を鉄道事業者と進めていきたい。



無所属

うちだ ひろき
内田 博紀



市長の政治姿勢について

Q失語症に係る意思疎通支援者派遣事業(知+)の制度化を求める。

Aどのような方法で実現するのが望ましいのか、調査研究する。

Q柏駅東口再整備事業においては再開発事業の形態としないとの確認はできるか。

A柏駅東口駅前の未来の姿は、市街地再開発事業を前提として描いたものではない。

Q柏駅東口再整備事業ではタワーマン

ションを誘導しないとした方針に変わりはないか。

A駅直近のエリアにタワーマンションのような住宅のみの建物を積極的に誘致する考えはない。

市立病院の利便性向上について

Q病院前まで乗り入れるバスの時刻を改善してもらえないか。

A路線バスの敷地内への乗り入れ時間を午後5時台まで拡大することは、病院利用者の利便性の向上につながる。バス事業者と意見交換を行う際、協議する。



公益通報

労働者等が、労務提供先の不正行為を通報すること。通報先は「事業者内部」「行政機関」「その他の事業者外部」の3つがあり、不正の目的(利益を得る・損害を加えるため等)で通報した場合は公益通報にはならない

ボーリング調査

地面に深い穴を掘って地盤の状態を調査するもの。土質・地質や層序、地盤強度などが明らかになる

柏市ばい捨て等防止条例

市内全域の道路で歩きタバコ・ごみのばい捨て禁止などの規制をしており、禁煙強化区域で路上喫煙を行った人に、2,000円の過料が科せられている

柏駅前空間に関するアンケート

令和6年8月から11月にかけて実施された、柏駅東口駅前周辺の再整備に向けたアンケートのこと。「柏が変わる『わたしの声で』～まちのみらいプロジェクト～」と題し、市民・学生・来街者を対象に実施された

意思疎通支援者派遣事業

障害や難病のため、意思疎通に支障がある障害者等とその他の者の意思疎通を支援するため、手話通訳者、要約筆記者等の派遣や養成等を行う事業